



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月5日

上場会社名 株式会社エーアイ

上場取引所 東

コード番号 4388 URL <https://www.ai-j.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣飯 伸一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 小川 遼 TEL 03 (6801) 8461

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：無

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	1,331	50.5	62	92.0	44	△23.8	68	—
2025年3月期第3四半期	885	—	32	—	57	—	△86	—

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 68百万円 (—%) 2025年3月期第3四半期 △88百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	10.89	—
2025年3月期第3四半期	△15.56	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	2,479	2,179	87.7
2025年3月期	2,960	2,518	79.6

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 2,175百万円 2025年3月期 2,357百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00	—		
2026年3月期（予想）				3.00	3.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想については、本日（2026年2月5日）に公表いたしました「配当予想の修正（復配）に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,800	21.1	90	△17.5	75	△42.4	95	—	14.93

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) 株式会社Lapis Live

除外 1社 (社名) 株式会社ATR-Trek

(注) 詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(企業結合等関係)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	7,004,298株	2025年3月期	7,004,298株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	901,962株	2025年3月期	363,171株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	6,290,699株	2025年3月期3Q	5,562,181株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 連結子会社である株式会社Lapis Liveの決算日は1月末日であり、連結決算日(3月末日)との間には2か月の差異があります。当第3四半期連結会計期間につきましては、同社の10月末日現在の財務諸表を使用し、四半期連結決算日(12月末日)との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(企業結合等関係)	10
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の通商政策による輸出への下押し圧力や物価高の影響、金融市場の変動による先行き不透明感があるものの、緩やかな回復基調で推移いたしました。雇用・所得環境の改善を背景とした個人消費の底堅さに加え、省力化やDX関連の設備投資、訪日需要の拡大が景気を支えています。

当社グループを取り巻く環境においては、中長期的な成長と企業価値のさらなる向上を目指し、当社は、2025年12月5日付で、東京証券取引所グロース市場からスタンダード市場へ市場区分を変更いたしました。音声事業においては、当期は「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の最終年度に当たり、防災・消防分野における需要が年度末に向けて増加したことから、売上に寄与いたしました。なお、令和8年度の地方財政措置においては、「緊急防災・減災事業債」について対象事業を拡充した上で事業期間を令和12年度まで5年間延長することが示されております。オーディオブックの提供冊数は前年同期比約50%増となり、事業として順調に成長しております。また、音声認識システムや音による予知保全製品vGate Aispectの展開を行っており、現場のDX化に資するソリューションとして、製造業をはじめとする様々な分野で採用されるよう、普及および導入の推進に努めております。コンシューマー向け分野においては、スマートフォンアプリ「コエステーション」の登録ユーザー数が15万人を突破し、個人の表現活動におけるプラットフォームとしての利用が拡大しており、A.I.VOICEシリーズの製品ラインナップも引き続き拡充を進めております。CRM事業においては、2026年3月期のリリースを目標に「Visionary Cloud」の開発を進めております。

当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は1,331,746千円（前年同四半期比50.5%増）、営業利益は62,886千円（前年同四半期比92.0%増）、経常利益は44,128千円（前年同四半期比23.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は68,532千円（前年同期は、親会社株主に帰属する四半期純損失86,544千円）となりました。スタンダード市場への区分変更により、営業外費用として上場関連費用11,530千円が発生しております。

また、2025年4月1日より株式会社Lapis Liveを当社グループの連結の範囲に含めております。詳細はP. 10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（企業結合等関係）」をご覧ください。

当社グループの経営成績を適切に表示するために、株式会社Lapis Liveが運営する事業を独立した報告セグメントとして開示することといたしました。

この結果、当社グループの事業セグメントは「音声事業」、「CRM事業」、「ライバーマネジメント事業」、「その他事業」の4区分とすることといたしました。詳細はP. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等の注記）」をご覧ください。

セグメントごとの当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、次のとおりであります。

セグメントの名称	2025年3月期 第3四半期 (千円)	2026年3月期 第3四半期 (千円)	比 較 増 減	
			金額(千円)	増減率(%)
音声事業	738,474	824,475	86,001	11.6
CRM事業	133,844	405,222	271,377	202.8
ライバーマネジメント事業	—	53,014	53,014	—
その他事業	12,787	49,034	36,246	283.5
報告セグメント計	885,106	1,331,746	446,640	50.5
その他	—	—	—	—
連結財務諸表計上額	885,106	1,331,746	446,640	50.5

① 音声事業

売上高は824,475千円（前年同四半期比11.6%増）、営業利益は97,524千円（前年同四半期比97.0%増）となりました。

② CRM事業

売上高は405,222千円（前年同四半期比202.8%増）、営業損失は8,214千円（前年同期は、営業利益564千円）となりました。

③ ライバーマネジメント事業

売上高は53,014千円（前年同四半期比—%）、営業損失は1,191千円（前年同四半期比—%）となりました。

④ その他事業

売上高は49,034千円（前年同四半期比283.5%増）、営業利益は2,109千円（前年同期は、営業損失3,902千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,797,319千円となり、前連結会計年度末に比べ324,362千円減少いたしました。これは主に現金及び預金128,422千円及び預け金174,550千円が減少したことによるものであります。固定資産は680,109千円となり、前連結会計年度末に比べ156,057千円減少いたしました。これは主に前払金が203,634千円減少し、のれんが76,156千円増加したことによるものであります。繰延資産は1,853千円となり、前連結会計年度末に比べ510千円減少いたしました。これは社債発行費が510千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、2,479,283千円となり、前連結会計年度末に比べ480,930千円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は229,455千円となり、前連結会計年度末に比べ126,702千円減少いたしました。これは主に買掛金が102,863千円減少し、契約負債が14,813千円増加し、流動負債のその他が38,293千円減少したことによるものであります。固定負債は70,409千円となり、前連結会計年度末に比べ15,598千円減少いたしました。これは主に社債が15,000千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、299,864千円となり、前連結会計年度末に比べ142,301千円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は2,179,419千円となり、前連結会計年度末に比べ338,629千円減少いたしました。これは、利益剰余金が68,532千円増加し、自己株式が248,651千円増加し、非支配株主持分が156,719千円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は87.7%（前連結会計年度末は79.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期の連結業績予想については、2025年11月6日公表の「2026年3月期中間連結会計期間の業績予想値と実績値との差異及び2026年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,588,951	1,460,529
売掛金及び契約資産	315,330	292,230
商品及び製品	3,949	3,006
原材料及び貯蔵品	741	665
預け金	174,550	—
その他	38,158	40,887
流動資産合計	2,121,682	1,797,319
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備（純額）	17,288	16,136
工具、器具及び備品（純額）	11,412	13,313
リース資産（純額）	2,602	2,160
有形固定資産合計	31,302	31,610
無形固定資産		
のれん	509,671	585,827
ソフトウェア	53,901	17,791
無形固定資産合計	563,572	603,618
投資その他の資産		
投資有価証券	0	—
前払金	203,634	—
敷金	28,614	31,795
繰延税金資産	6,737	7,974
その他	2,305	5,111
投資その他の資産合計	241,292	44,881
固定資産合計	836,167	680,109
繰延資産		
社債発行費	2,364	1,853
繰延資産合計	2,364	1,853
資産合計	2,960,214	2,479,283
負債の部		
流動負債		
買掛金	148,718	45,855
短期借入金	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	2,400	2,400
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
リース債務	620	636
未払法人税等	1,405	1,029
契約負債	36,110	50,923
その他	126,903	88,610
流動負債合計	356,158	229,455
固定負債		
社債	75,000	60,000
長期借入金	8,600	7,000
リース債務	2,407	1,927
繰延税金負債	—	1,481
固定負債合計	86,007	70,409
負債合計	442,165	299,864

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,405,303	1,403,512
利益剰余金	1,214,545	1,283,077
自己株式	△362,607	△611,258
株主資本合計	2,357,241	2,175,331
非支配株主持分	160,807	4,087
純資産合計	2,518,048	2,179,419
負債純資産合計	2,960,214	2,479,283

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	885,106	1,331,746
売上原価	414,864	613,838
売上総利益	470,242	717,908
販売費及び一般管理費	437,488	655,021
営業利益	32,754	62,886
営業外収益		
受取利息	170	1,419
為替差益	13,267	300
違約金収入	14,617	—
補助金収入	—	1,410
その他	3,602	996
営業外収益合計	31,657	4,126
営業外費用		
支払利息	1,009	1,235
支払手数料	5,015	9,200
上場関連費用	—	11,530
社債発行費償却	510	510
その他	—	407
営業外費用合計	6,535	22,884
経常利益	57,876	44,128
特別利益		
投資有価証券売却益	—	50,094
リース債務免除益	960	—
その他	114	—
特別利益合計	1,075	50,094
特別損失		
固定資産除却損	7,745	22,564
段階取得に係る差損	143,980	—
特別損失合計	151,726	22,564
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△92,774	71,659
法人税、住民税及び事業税	2,411	2,904
法人税等調整額	△6,680	244
法人税等合計	△4,268	3,148
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△88,505	68,510
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,960	△21
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△86,544	68,532

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△88,505	68,510
四半期包括利益	△88,505	68,510
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△86,544	68,532
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,960	△21

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び経営成績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

「音声事業」は、音声関連製品のライセンス供与、受託業務、クラウドサービスの提供並びにコンシューマー向け製品の販売を行っております。

「CRM事業」は、デジタルマーケティング市場における当社CRM製品Visionary及びVisionary Cloudを販売する事業を行っております。

「その他事業」は、連結子会社である株式会社スーパーワンの主力事業である、デジタル教科書及び教材に関連するアプリ等受託開発を行う事業を行っております。

なお、当社は2025年4月1日付で株式会社Lapis Liveの株式の100%を取得し、連結子会社とし、「ライバーマネジメント事業」を報告セグメントに追加しております。「ライバーマネジメント事業」はライブ配信者、タレントの育成、マネジメント及びプロモート業務並びに各種イベントの企画、運営及び管理を行っております。

II 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注1)
	音声事業	CRM事業	ライバー マネジメ ント事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	738,474	133,844	—	12,787	885,106	—	885,106
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	375	—	—	375	△375	—
計	738,474	134,219	—	12,787	885,481	△375	885,106
セグメント利益又は損 失(△)	49,504	564	—	△3,902	46,166	△13,412	32,754

(注1) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(注2) 調整額は、セグメント間の内部取引の消去額及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅲ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注1)
	音声事業	CRM事業	ライバー マネジメ ント事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	824,475	405,222	53,014	49,034	1,331,746	—	1,331,746
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	172	—	—	172	△172	—
計	824,475	405,395	53,014	49,034	1,331,919	△172	1,331,746
セグメント利益又は損 失 (△)	97,524	△8,214	△1,191	2,109	90,228	△27,342	62,886

(注1) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(注2) 調整額は、セグメント間の内部取引の消去額及び子会社株式の取得関連費用であります。

2. 報告セグメントの変更に関する事項

当第3四半期連結累計期間において、株式会社Lapis Liveの株式の100%を取得し、連結の範囲に含めたことに伴い、ライブ配信者、タレントの育成、マネジメント及びプロモート業務並びに各種イベントの企画、運営及び管理を行っている「ライバーマネジメント事業」を報告セグメントに追加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間において、株式会社Lapis Liveの全株式を取得し、連結の範囲に含めたことにより、「ライバーマネジメント事業」セグメントにおいて、のれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において136,933千円であります。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2025年2月5日及び2025年5月21日開催の取締役会決議において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議し、当第3四半期連結累計期間において自己株式542,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が251,191千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が611,258千円となっております。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	16,690千円	21,866千円
のれん償却額	13,412	60,777

また、当第3四半期連結累計期間に株式の取得により連結子会社となった株式会社Lapis Liveを連結したことに伴う連結開始時の資産及び負債の内訳並びに同社株式の取得価額と同社の株式取得による支出（純額）は以下の通りであります。

流動資産	71,360千円
固定資産	3,000
のれん	136,933
流動負債	△11,294
株式取得価額	200,000
現金及び現金同等物	△64,132
差引：取得による支出	135,867

（企業結合等関係）

（取得による企業結合）

当社は、2025年3月26日開催の取締役会において、株式会社Lapis Live（以下、「Lapis Live」という。）の株式を取得し、子会社化することについて決議し、同日付で株式譲渡契約を締結し、2025年4月1日付で株式を取得しました。

1. 企業結合の概要

（1）被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社Lapis Live

事業の内容 1. ライブ配信者、タレントの育成、マネジメント及びプロモート業務
2. 各種イベントの企画、運営及び管理

（2）企業結合を行った主な理由

Lapis Live は2022年に設立された、バーチャルキャラクターにて各種アプリサービスを利用してライブを行う配信者（V ライバー）のマネジメント事務所を運営するスタートアップ企業であり、所属 V ライバーは400名を超える業界大手の事務所であります。

当社においては特にコンシューマー向けサービス「A. I. VOICE」において、自社キャラクターに加えて多くのサードパーティキャラクターに参画いただき、個人向け音声合成ソフトウェアに留まらない展開を行っております。今後の当社における幅広いキャラクターIP事業展開と、バーチャルライブ配信「IRIAM」における主要なライバーマネジメント事務所であるLapis Liveとは事業親和性は高くシナジー効果が発揮できるものであると認識しております。

また、当社におけるコンシューマー事業の多角展開の観点に加え、Lapis Live の事業の安定的継続と発展に大きく寄与するものと判断しております。

（3）企業結合日

2025年4月1日

- (4) 企業結合の法的形式
現金を対価とする株式取得
- (5) 結合後企業の名称
変更はありません。
- (6) 取得した議決権比率
100%
- (7) 取得企業を決定するに至った主な根拠
当社が現金を対価として株式を取得したことによります。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2025年2月1日から2025年10月31日まで

被取得企業の決算日は1月31日であり、連結決算日との差異が3ヶ月を超えないことから、被取得企業にて仮決算を実施した10月31日現在の決算書を使用しております。

但し、11月1日から四半期連結決算日12月31日までの期間に発生した重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金及び預金	200,000千円
-------	--------	-----------

4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザリー費用等	27,342千円
------------	----------

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

発生したのれん	136,933千円
---------	-----------

発生原因	今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力であります。
------	--------------------------------

償却方法及び償却期間	5年間にわたる均等償却
------------	-------------

6. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	71,360	千円
固定資産	3,000	千円
資産合計	74,360	千円
流動負債	11,294	千円
固定負債	—	千円
負債合計	11,294	千円

(共通支配下の取引等)

連結子会社の吸収合併

当社は、2025年7月18日開催の取締役会において、2025年9月1日を効力発生日として、当社の完全子会社である株式会社ATR-Trekを吸収合併することを決議し、同日付で吸収合併契約を締結いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被結合企業の名称及びその事業の内容

名 称：株式会社ATR-Trek

事業の内容：音声認識、翻訳技術の開発

(2) 合併契約締結日

2025年7月18日

(3) 企業結合日

2025年9月1日

(4) 企業結合の法的形式

当社を存続会社とし、株式会社ATR-Trekを消滅会社とする吸収合併

(5) 結合後企業の名称

株式会社エーアイ

(6) その他取引の概要に関する事項

意思決定の迅速化に加えて、事業戦略・研究開発組織の一本化を図り、AI音声関連技術の研究開発

リソースの最適化と迅速かつ柔軟な研究開発体制の構築を目的として吸収合併することといたしました。

2. 会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号2019年1月16日）および「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号2024年9月13日）に基づき、共通支配下の取引として処理いたします。

（重要な後発事象）

（自己株式の消却）

当社は、2025年12月19日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式の消却に係る事項を決議し、以下のとおり実施いたしました。

- （1）消却した株式の種類 ： 当社普通株式
- （2）消却した株式の総数 ： 700,000株（消却前の発行済株式総数に対する割合 9.99%）
- （3）消却日 ： 2026年1月15日
- （4）消却後の発行済株式総数 ： 6,304,298株